

## 1. 内政

### ▼ティモシェンコ前首相に関する動き

- ・7日、ペシュケ独外務省報道官は、ドイツでのティモシェンコ前首相の治療に関するドイツの提案は現時点でも有効である旨発言。同日、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派長は、エフレームフ地域党会派長に、コックス元欧州議会議長及びクファシニエフスキ元ポーランド大統領による監視ミッションによる同前首相恩赦の請願への支持を要請。一方、エフレームフ会派長は、ヤヌコーヴィチ大統領がティモシェンコ前首相に恩赦を与えるための法的根拠は存在しない旨発言。
- ・9日、ティモシェンコ前首相弁護団は、2009年対露ガス契約に関する有罪判決の取消し等を求める訴えを最高裁判所に提出。
- ・11日、リュバク最高会議議長は、ティモシェンコ前首相の国外治療を可能とさせる法案を作成するよう与野党議員に呼びかけ。同日、エフレームフ地域党会派長は、同党は野党と同法案を作成する用意がある旨発言。

### ▼最高会議の動き

- ・10日、最高会議は、裁判官の独立性の保証強化に関する憲法改正法案を与党系議員244名の賛成多数で承認。11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、次期会期において同法案が採択されることを期待する旨発言。(注:本憲法改正法案が採択されるには、憲法規定により次期会期において議員の3分の2以上の賛成を得る必要がある。)
- ・10日、リュバク最高会議議長は、EU・ウクライナ議会協力委員会のウクライナ側共同委員長にティヒプコ(前副首相兼社会政策相)及びポロシェンコ(前経済発展・貿易相)両議員を任命。
- ・11日、地域党議員は、「スヴォボーダ」党議員が議場内に愛国主義的軍旗等を掲揚したことに抗議の意を示し、本会議議場を退出。
- ・11日、地域党議員は、選挙法改正案を最高会議に登録。
- ・11日、「バチキフシチナ」党会派は、与党と協力して投票行動を行ったとして、パヴェルコ、セルヒエンコ両議員の除名処分を決定。

### ▼その他

- ・7日、エフレームフ地域党会派長は、同党は12月25日にやり直し選挙が実施される予定の最高会議5小選挙区における候補者を決定した旨発言。
- ・共産党は及び「ウクライナの選択」運動は、関税同盟への加盟の是非を問う国民投票の実施を求める集会を6日にドネツク、シンフェローポリにおいて、9日にミコライフ、ドニプロペトロフスク、スムィ、クリヴィリフにおいて開催。
- ・8日、中央選挙管理委員会は、共産党が提出したウクライナ

の関税同盟加盟に関する国民投票の登録申請を却下。同日、シモネンコ同党党首は、10日から同国民投票の実施を求める署名運動を開始する意向である旨発言。

## 2. 経済

### ▼マクロ経済

- ・9日、IMFは、2013年のウクライナのGDP成長率予測を0%(本年4月予測)から0.4%に上方修正(インフレ率0%)し、2014年の同成長率予測を2.8%から1.5%に下方修正(インフレ率1.9%)するとともに、失業率が2013年及び2014年においては8.0%に達するであろう旨報告。
- ・10日、Global Wealth Reportは、ウクライナ国民の年収は多くのアフリカ諸国と同程度のレベルの5,000米ドル以下で世界平均の10分の1以下であり、欧州諸国の中ではベラルーシやモルドバと同レベルである旨報告。

### ▼自動車市場

- ・9日、UkrAvtoPromは、同社と特殊な設備を製造するイタリア企業との間で署名された関連合意に基づき、2014年中にキエフ周辺に自動車リサイクルプラントが建設される旨発表。
- ・10日、閣僚会議は、走行年数15年以上の車に対する環境税賦課に関連する法案を既に準備中であり、税額は一台当たり100米ドル程度であると想定されている旨発表。
- ・11日、UkrAvtoPromは、2013年1～9月期のウクライナにおける乗用車生産が45.4%減の約3万台であった旨発表。

### ▼ガス問題

- ・5日、サブロフ・ハルキフ州行政府副長官は、「シェル」社が「ウクルガスヴァイドブヴァンニャ」社との契約に基づき同州「ピリャイフスカ-400」採ガス井で実施している試掘において非在来型ガスの存在が確認された旨発言。

### ▼その他

- ・9日、アザーロフ首相は、閣僚会議が新たなロケットと宇宙製造物の改良のためのプログラムトータルコストは26億フリヴニャであり、本プログラムの実施によって新たに1万の雇用の創出及び航空宇宙産業の生産50%増が見込まれる旨発言。

## 3. 外政

### ▼ヤヌコーヴィチ大統領のポーランド訪問

- ・7日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ポーランドを訪問し、コモロフスキ大統領との会談において両国政治・経済協力及びウクライナの欧州統合問題等に関し協議。会談後、両大統領は、2013-2015年の両国協力プログラムに署名。
- ・7日、ヤヌコーヴィチ大統領は、訪問先のクラクフにおいてコモロフスキ大統領、ナポリターノ伊大統領及びガウク独大統領と会談。

### ▼ヤヌコーヴィチ大統領のトルコ訪問

- ・9日、ヤヌコーヴィチ大統領は、トルコを訪問し、ギュル大統

領及びエルドアン首相とそれぞれ会談。同日、ヤヌコーヴィチ大統領及びエルドアン首相は、第3回ウクライナ・トルコ・ハイレベル戦略会合に出席し、両国貿易・経済関係、エネルギー、航空機製造、地域間及び人文分野における協力等に関し協議。会合後、両首脳は、共同声明に署名し、教育及び林業の分野における協力に関する両国間協定等の署名式に臨席。ヤヌコーヴィチ大統領は、EUとの連合協定署名準備と同時並行的に行われているトルコとの自由貿易圏協定の署名に向けた準備は最終段階に入った旨発言。

#### ▼アザールーフ首相のベラルーシ訪問

・7日、アザールーフ首相は、ベラルーシを訪問し、ルカシェンコ大統領と会談。同大統領は、EU・ウクライナ連合協定署名後もウクライナと関税同盟との協力の継続を支持する旨表明。

・7日、アザールーフ首相は、ミヤスニコヴィチ首相と会談し、EUとの連合協定署名後の両国協力関係の拡大等に関し協議。

#### ▼ヴェスターヴェレ独外相の来訪

・10日、ヤヌコーヴィチ大統領及びコジャーラ外相は、来訪したヴェスターヴェレ独外相と会談し、二国間関係及び東方パートナーシップ首脳会合に向けたウクライナの準備状況に関し協議。

・10日、ヴェスターヴェレ外相は、東方パートナーシップ関連の国際会合に出席し、連合協定署名のためのウクライナによる義務の履行における進展を認めた一方、ティモシェンコ前首相の釈放問題等対処すべき課題は残されており、また、ドイツは同前首相を受け入れる用意がある旨発言。

#### ▼フィーレ欧州委員の来訪

・11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、来訪したフィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員と会談し、欧州統合路線において最も頭の痛い問題はティモシェンコ前首相の問題であるものの、欧州議会ミッションとの協力により近日中に同問題解決の方法が決定することを期待する旨発言。

#### ▼コジャーラ外相のウズベキスタン訪問

・11日、コジャーラ外相は、ウズベキスタンを訪問し、カリモフ大統領と会談。双方は、両国協力関係及び同発展の見通し等に関し協議し、農業・食品、化学及び自動車製造分野の貿易・経済及び投資協力の必要性を強調。

・11日、コジャーラ外相は、カミロフ外相と会談し、両国貿易・経済関係、投資及び文化・人文協力の活性化、カリモフ大統領のウクライナ訪問及びウクライナ・ウズベキスタン協力委員会開催の準備状況等に関し協議。会談後、両外相は、両国外務省間の2014-2015年協力プログラムに署名。

・11日、コジャーラ外相は、ソビロフ上院議長と会談し、両国議会間対話の現状及び展望に関し協議。

#### ▼姜昌熙・韓国議会議長の来訪

・7日、ルイバク最高会議議長は、ウクライナを訪問した姜昌熙(カン・チャンヒ)韓国議会議長と会談し、政治、貿易・経済及び社会分野における両国の協力強化に関し協議。ルイバク議長は、ウクライナは魅力的な投資環境を保障するためあらゆる措置を講じるとして、農業、建設、製鉄、エネルギー及びハイテク分野への韓国からの投資に期待する旨発言。姜議長は、韓国企業は農業、高速鉄道車両製造(於ドニプロペトロフスク)及びLNGターミナル建設(於オデッサ)への投資の用意がある旨発言。

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、姜議長と会談し、貿易・経済関係の発展が二国間協力の優先課題であるとして、両国議会に創設された友好議員グループの活動への期待を表明。

#### ▼バレット・アイルランド下院議長の来訪

・9日、アザールーフ首相は、来訪したバレット・アイルランド下院議長と会談し、政治、経済及び人文分野における両国関係の強化、東方パートナーシップ首脳会合の準備状況等に関し協議。バレット議長は、ウクライナの欧州統合路線を支持する旨表明。

・9日、ルイバク最高会議議長は、バレット議長と会談し、両国の議会間協力及び貿易・経済協力の活性化、PACE及びOSCE等の国際機関における協力等に関し協議。

・10日、ヤヌコーヴィチ大統領は、バレット議長との会談において両国関係の発展の重要性を強調。

#### ▼エッティンガー・エネルギー担当欧州委員の来訪

・10日、ヤヌコーヴィチ大統領は、来訪したエッティンガー・エネルギー担当欧州委員と会談し、ウクライナ・EU関係におけるエネルギー安全保障問題等に関し協議。

・10日、アザールーフ首相は、エッティンガー欧州委員と会談し、ウクライナのガス輸送システムの近代化の問題に関し協議。エッティンガー欧州委員は、EUは同近代化への協調融資を行う用意がある旨発言。

#### ▼その他

・9日、グラジエフ露大統領補佐官は、EU・ウクライナ連合協定が署名された場合、ロシアはウクライナ国民に対する査証制度を導入する可能性がある旨発言。

## 4. 防衛

・8日、レベジェフ国防相は、ウクライナを公式訪問中のジャドビン・ベラルーシ国防相と会談、二国間軍事協力の展望、軍事技術協力の発展等について議論。

・10日、ラスムセンNATO事務総長は、ウクライナ海軍のフリゲート艦が10日からNATO海賊対策作戦「オーシャンシーールド」に参加した旨発表。

(了)